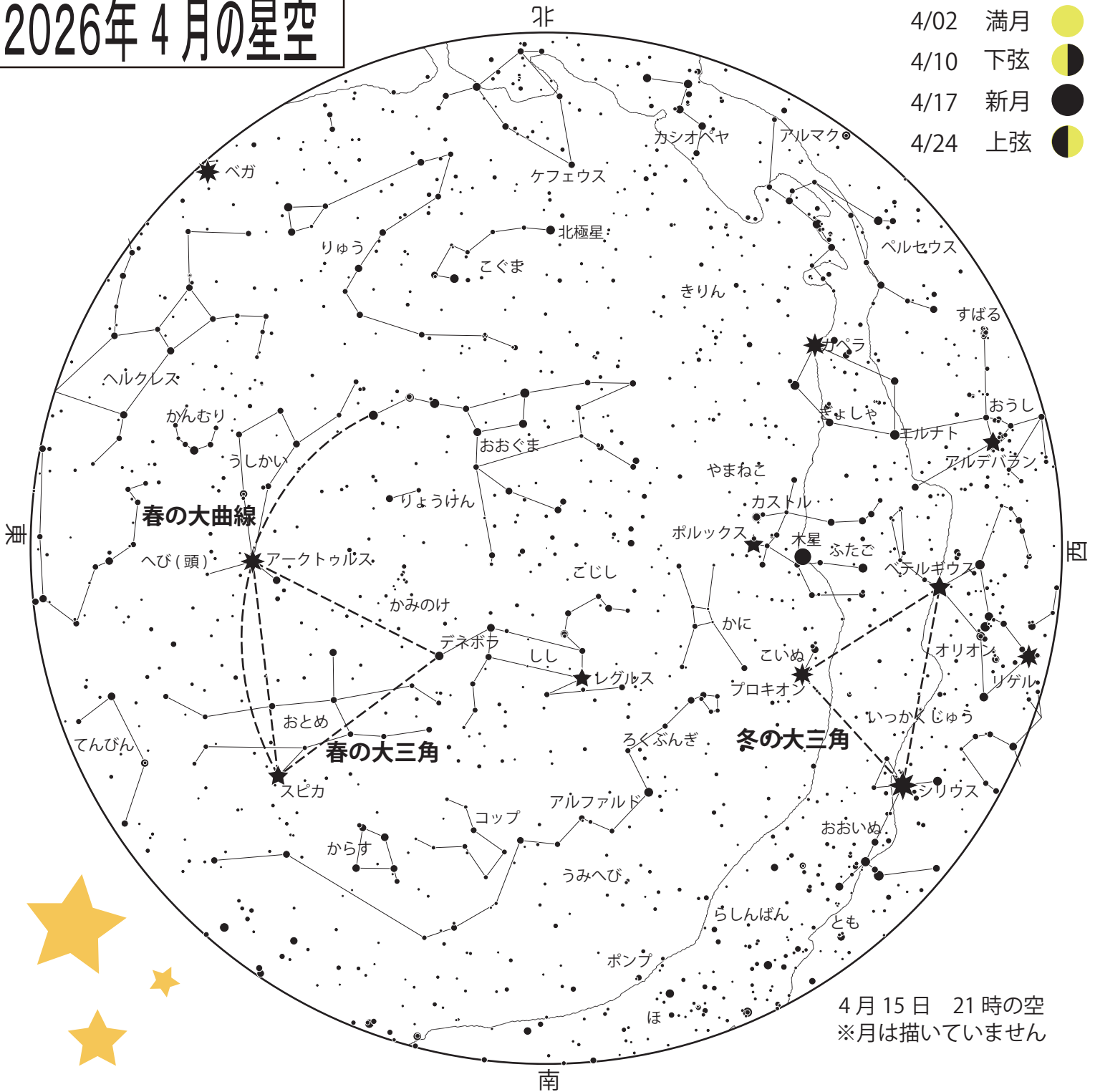


姫路で見る 2026年4月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 4/02 満月 
- 4/10 下弦 
- 4/17 新月 
- 4/24 上弦 



4月15日 21時の空
※月は描いていません

世間は春本番ですが、西の星空にはまだ冬の星座が残っています。**オリオン座**の赤い**ベテルギウス**、**おおいて座**の白い**シリウス**、**こいぬ座**の黄白色の**プロキオン**を結ぶ「**冬の大三角**」は西の空を彩っています。北寄りの**ふたご座**は、黄色の**ポルックス**と白い**カストル**が目印です。その南には、春の星座の**かに座**があり、「**プレセペ星団**」がシンボルです。更に南の**しし座**は、心臓の**レグルス**、「？」を逆さまにしたような頭、四角い体でライオンの形です。北の空では**おおぐま座**の「**北斗七星**」が目立っています。ひしゃくの器の先を伸ばすと、北の目印となる「**北極星**」が見つかります。持ち手を伸ばすと、**うしかい座**の**アークトゥルス**や**おとめ座**の**スピカ**を見つけることができます。このラインが「**春の大曲線**」です。**アークトゥルス**・**スピカ**としし座の尾にあたる**デネボラ**を結ぶと「**春の大三角**」を描くことができます。**木星**は**ふたご座**の中を東に移動していて(順行)、22日と23日には**月**が近くを通ります。24日に上弦となるほぼ半月状の**月**と、マイナス2.1等の明るさで輝く**木星**が並ぶ様子は目を引くでしょう。**ポルックス**や**カストル**も近くにあるため、**木星**の周りは賑やかです。春は空気中の水蒸気が増え、花粉や黄砂で空がかすみがちです。それらが流される雨上がりの晴れた夜が星空観察にはお勧めです。